「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第65回　石川県代協

「被災地とともに、石川県代協の支援活動」

能登半島地震では多くの方々が犠牲になり、また家屋の倒壊等の被害がもたらされました。住居等被害に遭われた地域も広く半年を過ぎてもインフラの整備も進まずなかなか復興の兆しが見えてこない状況の中、被災された地域の会員の皆様のお客さまへの対応、地震被害の調査、スムーズな保険金支払いのお手伝いや、ご自身の経営立て直しなど大変な努力をされていると思います。石川県代協としても復興への手助けや、今後の防災、減災の取組みを一層進めなければならないと考えています。

能登半島地震における被災地への石川県代協の対応をまとめました。

■支援物資の提供

多くの会員が協力して支援を行いました。輪島の会員が運転する車に積み込み、最終的に被災地へと届けられました。

珠洲市社会福祉協議会

■臨時理事会の開催

1月12日、石川県代協はZoomを活用し、緊急の臨時理事会を開催しました。

- 新聞広告の前倒し…被災状況を広く知らせるため、3月掲載予定だった新聞広告を1月20日に前倒し。
- 能登支部被災会員の状況報告…各会員の被害状況を共有し、今後の支援方針を検討。
- 金沢および小松支部会員からの見舞金募集…被災会員を支援するため、義援金の募金活動を開始。

■義援金の配布

- 5月20日…能登支部21会員に1会員あたり51000円を配分。
- 5月31日…石川県へ義援金100万円を振込。
- 6月14日…8会員に35万円、9会員に50万円を配分。
- 9月21日…能登豪雨災害の被災者支援として物資を購入・発送。
- 1月31日…2023・2024チャリティゴルフの寄付金を石川県へ義援金として振込。

■岡山県代協からの車いす贈呈

全国からの支援の一環として岡山県代協より車いす5台が寄贈されました。

- 7月24日…岡山県代協による車いす贈呈式。
- 8月9日…珠洲市社会福祉協議会へ2台、輪島の特別養護老人ホームへ2台寄贈。
- 8月28日…穴水町へ1台寄贈。

■損保協会・金融庁との会談

1月12日16時15分、損害保険協会北陸支部および金融庁の関係者が石川県代協事務局に来訪されました。来訪されたのは、金融庁監督局保険課長の三浦知宏氏、損害保険協会会長の新納啓介氏（あいおいニッセイ同和損保代表取締役社長）、損害保険協会北陸支部委員長の南波靖一朗氏ほかです。石川県代協側は、浜上会長、宮野副会長、松岡副会長、竹村専務理事が応対。特に宮野副会長は、自身が被災地である輪島市の住民であり、地震による甚大な被害状況を直接説明しました。

今回の震災対応において、石川県代協は迅速な支援と復興活動を展開しました。これらの取組みは、被災された会員や地域住民にとって大きな助けとなり、今後の復興への道筋を示すものとなりました。